

令和元年 7 月 守口市教育委員会定例会の概要

○日時：令和元年 7 月 2 4 日（水）

午前10時00分～午後 3 時32分

○ 出席者

教育長 首 藤 修 一

教育委員

教育長職務代理者 渡 邊 一 郎

委 員 江 端 源 治

委 員 駒 田 真 由 美

委 員 堀 俊 一

事 務 局

教育次長兼管理部長 小濱 利彦 指導部長 林 安喜夫

総務課長 宮木 勝博 学校管理課長 林 慶

学校管理課参事 小森 勝 学校教育課長 森田 大輔

保健給食課長 西本 岳史 教育センター長 中村 文俊

生涯学習・スポーツ振興課 宮垣 義隆 ほか担当職員

○教育長 ただいまから、教育委員会の定例会を開催いたします。

日程第 1、「会期について」をお諮りいたします。

本日の定例会の会議時間は午前 1 0 時から午後 5 時までといたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長 異議なしと認め、会議時間は午後 5 時までといたします。

次の日程に入ります前に、お諮りいたします。

本日の定例会に傍聴の申請があり、許可しようと思いますが、異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長　それでは、異議なしと認め、傍聴を許可することといたします。なお、傍聴は30人まで許可することといたします。

それでは、傍聴人を入場させてください。

暫時休憩いたします。

午前10時05分　休憩

午前10時07分　再開

○教育長　休憩を閉じ、委員会を再開いたします。

傍聴人に対しての諸注意を事務局よりお願いいたします。

○事務局　傍聴人におかれましては、既にお渡ししております、守口市教育委員会傍聴規則を熟読の上、遵守していただきますようお願いいたします。

○教育長　それでは、次に、日程第2「会議録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は江端委員を御指名申し上げますので、よろしく申し上げます。

○教育長　次に、日程第3、「会議録の承認について」お諮りいたします。既に、委員の皆様には1月28日に開催されました、教育委員会1月定例会会議録(案)と、2月12日に開催されました教育委員会2月定例会会議録(案)を配付しております。原案のとおり承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長　それでは、異議なしと認め、教育委員会1月定例会会議録(案)と2月定例会会議録(案)については承認することといたします。

次の日程に移ります前に、守口市教育委員会会議規則第19条に基づき、私から会議の運営についてお諮りいたします。

以降の審議の順序変更等、審議の方法についてでございます。

日程第4、議案第17号「令和元年度実施 公立小・中・義務教育学校 校長・教頭・指導主事等選考の一次選考推薦者について」及び、日程第5、議案第18号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」は、先に協議事項、報告事項を済ました後に、審議することといたしたいと思います。なお、日程第4、議案17号は人事案件でございますので、全ての案件が終了した後で関係者のみで秘密会にて審議することといたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長 それでは、異議なしと認め、本日は議案の審議を行う前に、協議事項及び報告事項を済ませた後に、議案第17号と議案第18号を審議したいと思います。

それでは、傍聴人は一旦退場してください。

暫時休憩いたします。

○教育長 それでは、休憩を閉じ、再開いたします。

日程第5、議案第18号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」を議題といたします。議案の朗読をお願いいたします。

○事務局 日程第5、議案第18号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」

「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」次のとおりとする。

令和元年7月24日提出 守口市教育委員会 教育長 首藤修一。

○教育長 それでは、日程第5、議案第18号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」の審議をこれから進めてまいりたいと思います。

その前に、約1カ月の間、綿密な調査研究を行っていただきました調査員の皆様方にお礼を申し上げます。また、調査資料を踏まえまして、選定委員の皆様方には多くの意見を参考にさせていただきながら十分に検討し、答申を出していただきました。その御労苦に対しまして、心から御礼を申し上げたいと思います。

審議に入ります前に、答申をいただくまでの経過を選定委員会より説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　答申の策定に当たりまして、まず、教育長からの諮問にあります、守口の教科書採択における基本的な4つの視点、（1）学びの過程を重視した教科書、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を踏まえ、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現に向けた工夫がある。（2）言語活動の充実につながる教科書、伝え合うこと、書くこと、読むことなど、児童が主体的に考えたり表現したりする工夫がある。（3）自学自習力の育成につながる教科書、家庭等での自学自習を促す工夫がある。（4）本市の特色を活かせる教科書、義務教育9年間の学びの連続性を考慮した記述の工夫や、児童・教員のICT活用の例示やデジタル資料等の添付など、ICT活用の工夫などがある、という観点と、守口市の子ども達の実態や地域性等を十分に考慮いたしました。また、調査員が調査研究を行った調査報告書を十分に活用し、さらに教員の意見、府の選定資料も踏まえ、これらを総合的に協議し、答申を作成、提出いたしました。

以上でございます。

○教育長　それでは、これより教科書採択の審議に入りますが、その前に、審議を進めていく手順についてお諮りいたしたいと思います。

委員の皆様方には、この間、事前に全者の教科書を実際に見ていただく等、調査をしていただいたところです。

さて、これからの審議におきましては、全ての発行者の教科書について審議をすることとなりますと、膨大なものとなることから、原則的には、令和元年7月16日に受理しました、守口市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会の答申を尊重しながら、最もふさわしいと答申された教科書の中から審議していきたいと思いますが、委員各位がこれまで調査をされた中で、ぜひともこの教科書についても審議してほしいという提案がありましたら、その教科書も加えて審議を行い、最終的には1者を決定して

いくという方法で検討してまいりたいと思います。また、決定に関しましては、全員一致でない場合は投票としたいと思いますが、この進め方について御意見はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長　それでは、異議なしと認め、選定委員会の答申の教科書の中で最もふさわしいとされたものと、各委員から提案のありました教科書について説明を求めた後、その教科書の審議を行い、最終的に1つの教科書を採択していきたいと思います。

それでは、ただいまより国語について審議いたします。

答申にある、東京書籍と光村図書について審議をしたいと思いますが、ほかに委員の皆様で推薦する教科書がありましたら、出してください。

よろしいですか。それでは、東京書籍と光村図書の教科書の準備をお願いいたします。

東京書籍と光村図書について、選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、選定委員会の事務局担当課より説明をさせていただきます。

過日開催されました選定委員会においては、調査員による調査、研究の報告等をもとに、本市にふさわしい教科書についての検討がなされました。各選定委員からは、全ての発行者の教科書について、その内容及び今後求められる授業づくりにかかる工夫等について意見が交わされ、その中で、より多くの肯定的な意見が出された教科書が、守口市の児童が使用するのに最もふさわしい教科書として選定がなされました。

それでは、国語の教科書について2者の主な意見を説明させていただきます。

まず、東京書籍でございます。恐れ入りますが、6年生7ページを御参照いただきますよう、お願いいたします。言葉の力を重視しておりまして、言葉の力を身につけることを中心に据え、言語活動の小単元を繰り返し入れるなど、学び続けられるように構成されております。

続いて、72ページを御参照ください。言葉集めの教材では、思考にかかわる言葉やつなぐ言葉などが自学自習の参考として掲載されております。

続いて、86ページを御参照ください。さらに、多くの図書を紹介していたり、「本はともだち」などの単元があり、読書推進のための工夫がなされております。

東京書籍に関する主な意見は以上でございます。

次に、光村図書でございます。恐れ入りますが、6年生30ページを御参照ください。それぞれの単元の学習のページに、学習指導要領の3つの柱が視覚的にわかりやすく示されており、3つの柱の中でも特に「ひろげよう」というところに重点を置き、対話的な学び、深い学びを推進しております。

続いて、16ページを御参照ください。巻頭に「続けてみよう」という教材を取り入れ、継続的な言語活動を推奨しつつ、「コミュニケーションコラム」を設けるなど言語活動の充実が促されるようになっております。

続いて、11ページを御参照ください。学習指導要領に新設された、情報の扱い方に関する事項を教材化した「じょうほう」という教材を単元として取り入れております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された2者の教科書の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に、もう一度教科書を見ていただくために、5分間休憩を取ります。

午前10時38分 休憩

午前10時43分 再開

○教育長 休憩を閉じ、審議に入ります。

○委員 本市の教科書採択の基準に、この新しい指導要領が強調しています、授業改善の主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現に向けた工夫がどういうふうに教科書にあらわれているのかという観点から見させてもらったわけです。東京書籍と

光村図書で、同じ教材で比較させてもらいますと、5年生の「大造じいさんとガン」というのがございます。東京書籍のほうはまとめの評価のところで、朗読で表現していますので、朗読ということに重点をおかれていますと、これは従前あったようなことじゃないかなと思うんですね。それに比べますと、光村図書のほうは「大造じいさんとガン」のまとめのページで、朗読で深めていくだけではなく、「ひろげよう」というところで友達がどんな魅力を感じているだとか、自分の考えと比べながら読み感じたことを伝え合うという、この伝え合うということが非常に今回のキーワードなんですね。そこで主体的、対話的な深い学びに結びついてくるんじゃないかなと、こういうところまで配慮されているということで、光村図書のほうがいいんじゃないかなというふうな意見をもっております。

○教育長　　ありがとうございます。

ほかにございませんか。

ないようですので、情報という観点から教科書についてどういうふうな内容か、それをつかんでおられますか。

○教科書選定委員会事務局　情報教育についてでございますが、改めまして本市のICT環境でございますが、全普通教室に書画カメラ、電子黒板を配置し、ネットにつながる環境でございます。加えまして、iPadを42台、全校配置に向け、現在準備を進めているところでございます。光村図書におきましても東京書籍につきましても、デジタル教材ということで、QRコード等が掲載されているところでございます。実際に教室のほうではiPadでQRコードを読み取りまして、電子黒板に映し出すということで、効果的な活用ができるというふうに考えております。

○教育長　　見せていただきました教科書、どの教科書もそうですが、QRコードがあるということで、それとの関係でそんなに差はないんでしょうけれども、そういう観点からでも検討していただきたいと思います。

ほかにございますか。これを比べますと、いわゆる分量が違うというふうにあります

すね。これについて意見などはどうですか。一定の考え方として。よろしいですか。これは5、6年は1冊でどちらもされていますね。あと低学年は恐らく重いからということだろうと思いますが、上下分冊になっておりますけれども、この辺もどちらも同じだということで、ただ分量を単純におきますと、東京書籍のほうは1冊分多いかなというふうに思うんですけれども、特に分量からいけば、低学年のほうに違いがあるのかなというふうに見ているんですけれども、分冊をしてありますので、子どもの負担というのはそんなに関係ないかなというふうに思うんですけれども。

○委員 情報の取り扱いに関する事項というのが、学習指導要領で新しく新設されたものなんですね。それに関してどのように掲載されているのかということの観点から見た場合に、この光村図書のほうは特設單元ということで捉えられていると、しかも聞く、話す、書く、読むといった領域の單元と関連づけて指導できるような教材配列が工夫されているという、ここで例えば6年生の先ほど説明がありましたように、考えるときに使うとか、例えば関係を捉えようとか、集めるときに使うとか、調べるときに使うとか、そういうニーズの、非常に新しく新設されたものに対する取り組みの意欲が感じられると、これからますますこの情報というものがクローズアップされる世の中ですので、そういうところでも非常に共感できると、個人的な意見なんですけれども。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにありませんでしょうか。

○委員 本市では、家庭学習を充実させて自学自習力をつけていくという一つの課題と考えているところでありますけれども、そういう視点に立って教科書を隅から隅までとはなかなかいかないんですけれども、見せていただきました。そういう意味で、東京書籍にしろ、光村図書にしろ、それぞれに取組みはなさっているように、私が読ませていただいた範囲で思ったんですけれども、そのあたり、相対的に選定委員会とか、あるいはそれぞれ調査をしていただきました段階での意見等はどういう様子で

あったかというあたり、参考に聞かせていただきたい。

○教科書選定委員会事務局　　自学自習力の育成につながるという視点に関しましては、東京書籍のほうですが、3年生の下を参照いただけますでしょうか。

例えば35ページですが、こちらに漢字の練習という単元があります。また、それ以外にも言葉の練習の小単元というものを問題形式にして巻末には解答のほうも載せて、自分で丸つけ等の学習ができるように設定されているという意見がございました。また、光村図書のほうですが、5年生の241ページを御参照いただけますでしょうか。こちらのほうにも自学自習の参考としまして、言葉の宝箱や解説、このまとめなどを各学年の巻末に掲載してあります、というような意見がございました。

以上でございます。

○教育長　　それぞれに工夫をなさっているというのはわかるんだけど、全体としてどちらがいいかという、なかなか甲乙つけがたい部分はあって1つに絞るとするのは難しいところがあるんですけども、とにかく市としては子ども達が自分でしっかり成長する力を身につけてほしいと同時に、それに関連する事柄として家庭で自分でやっていくことができるようになることの一番最初の段階として、まず、読書習慣がきちんと身につくということがとても大切ではないかという話題が出ていたわけですけれども、その中に係わって読書習慣の形成という視点ではどうでしょうか。

○教科書選定委員会事務局　　東京書籍ですが、3年生の上の102ページを御参照いただけますでしょうか。本を紹介する「本はともだち」を設けておりまして、作者お勧めの本を紹介するなどの工夫があります。また、光村図書ですが、調査事項になるのですが、4年生の上139ページ、こちらに「本の世界を広げよう」という項目がありまして、こちらで本の紹介だけではなくて、それを他の人に発信、交流する方法を掲載するなど、読書意欲を育てるのに役立つ工夫があるという意見がございました。

○教育長　　ありがとうございます。

ずっとやっておきたいんですけども、13種目ありますので、一定の時間は必要だと思いますけれども、何かこのほかに言っておきたいことがありましたら。

○委員 その読書習慣という観点で、こんな本を読みたいとか、図書館にも行ってみたいとか、本市では新しい図書館が開設されますので、そういう地域の図書館への働き方とか、そういう意欲が喚起できるような、そういう内容というのは掲載されているのでしょうか。

○教科書選定委員会事務局 読書活動の推進に対する工夫につきましては、両者ともございますので、私のほうからは府が作成しました選定資料から客観的な数値でお伝えをさせていただきます。まず、図書館情報機器の取り扱いの回数は東京書籍が7回、光村図書が9回、また、紹介をしている図書の冊数は東京書籍が508冊に比べ、光村図書が456冊、そういう状況となっております。

○首藤教育長 なかなか難しいんですけども、1本化できるような状況ではないので、投票という方式を取りたいと思います。

それでは、2つあるわけですから、東京書籍がいいのか、光村図書がいいのか、委員それぞれのお考えで挙手により決めたいと思います。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、東京書籍がいいと思われる方は挙手を願います。

おられませんか。それでしたら、光村図書ということで決定させていただきたいと思えます。

それでは、国語の教科書については、光村図書を採択といたします。

次に、書写の審議に入ります。答申にある、光村図書と日本文教出版について審議したいと思いますが、ほかに推薦はないでしょうか。

(「なし」の声あり)

○教育長 それでは、教科書の準備をお願いします。光村図書と日本文教出版です。

光村図書と日本文教出版について、選定委員会から説明をお願いします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、書写について、2者の主な意見を説明させていただきます。

まず、光村図書につきましては、全体として文字を書く基礎となる事項について、発達段階に応じた内容となっており、特に、低学年の段階においては、姿勢に気をつけ、筆記具を正しく持ち、点画の書き方や文字の形を意識して、筆順に沿って丁寧に書くこと等が取り上げられています。恐れ入りますが、6年生12ページを御参照ください。また、他教科との関連を「教科名」を明示して掲載されております。言語活動についても、手紙、原稿用紙、リーフレットの書き方など、日常生活や学習活動に生かせる内容が取り入れられております。

続いて、日本文教出版についてでございますが、恐れ入りますが、6年生の10ページを御参照ください。単元の構成が「考える」「確かめる」「生かす」の3つの流れで統一されております。

続いて、14ページ、また、20ページを御参照ください。また、毛筆で学習したことを、硬筆の学習で確かめるという流れとなっており、「生かす」では同じねらいを持った別の硬筆文字が取り上げられ、設定されるなど、学習内容の定着が図られる工夫がなされております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された2者の説明とさせていただきます。

○教育長　説明が終わりました。審議に入ります前に、教科書を見ていただくために5分間の休憩をとります。

午前10時55分　休憩

午前11時00分　再開

○教育長　それでは、休憩を閉じ審議に入りたいと思います。何かお聞きの点、御意見ございましたらおっしゃってください。

○委員　最初にお伺いしたいんですが、日本文教出版のほうは、教科書はないんで

すね。国語の教科書というのは。書写だけですよね。それは間違いないですよね。

○教科書選定委員会事務局 そのとおりでございます。

○委員 なかなか興味深いし、力が入っているなと思ったのですが、少し気になりましたのは、ICTを利用した教育活動は、本市でも取り組んでいるところなんですけど、そのあたり光村のほうは結構いろいろとあるように思いましたが、この日本文教出版のほうは、そのあたりの取組みについてはないとはいいませんけれども、具体的にどのような感じなんでしょうかね。

○教育長 書画カメラを全教室に設置しているわけですから、それが活用できるようなところがあればいいと思うんですが、どうですか。その件について。

○教科書選定委員会事務局 調査報告から光村図書は各ページにQRコードがございまして、ICT機器を活用した学習を展開できるとともに、家庭でもピンポイントで解説や動画を見ることができ、家庭学習を生かすこともできるということでございます。

日本文教出版でございますが、こちらにも記号は入ってはいませんが、ホームページ上に参考動画を掲載しており、ICT機器を活用した学習が展開できるようになっているということで、一括してQRコードで読み取るということでそこが大きな違いかなというふうに思っております。

○教育長 ほかにないですか。

○委員 QRコードを開いてないので、どういう形で書いたのかわからないのですが、私は日本文教出版のほうで低学年の平仮名の折り返しだったり曲がりだったり、漢字のはらいだったり、反りだったり、あと、6年生の字形の整え方というのがすごくわかりやすく書いている。ただ、光村図書さんのほうがQRコードで詳しく、もしかしたらされているのかと思うのですが。

○教育長 それはわかりますか。

○教科書選定委員会事務局 その解説、動画をQRコードで光村図書の場合は見る

ことができるということでございます。

○教育長 国語の教科と書写との関係というのは何かありますか。関係ないですか。どう思いますか。

○委員 光村の書写の中に。

○教育長 何年生ですか。

○委員 22ページから5年生ですか。

○教育長 5年生。

○委員 22ページから23、24、25ですか。それから26と。こういう「目指せ新聞記者」という、このキャッチフレーズで、震災の後、輪転機がとまって、報道の責任として何ができるかということで手書きで新聞を取り上げて報道したという。その手書きの力というんですか。そこをただ文字をきれいに書くという概念だけじゃなくて、そこからこの教材に結びつくような、このつながりがあるような気がするんです。文字の指導に関しては、日本文教のほうが丁寧で非常に魅力的です。

しかし、教材、国語の教材とつなげていつも文字というものは独立したものじゃなくて、文字の力というのは伝え合う。そこで、アナログとかデジタルとかいう時代で、いかにアナログという必要性を忘れたらだめなんだという、非常に何かこう訴えみたいなものを感じるんですね。だから、そこで国語の教科書がある、ないがどうかということはわからないんですけども、やはり国語の教科書と書写という、その書写の中にも国語の精神というか、編集の精神が入っていくと。個人的なことで偏ってますけど。

○教育長 他の教科の関連からいえば、今度は英語が教科として入ってくる。そうすると、美しく書くというのはローマ字なり英語なり、英語まではいかないんですけども、入ってくるんだろうと思います。そこまでは調べてはいますか。

○教科書選定委員会事務局 2者ともローマ字につきましては扱っております。

○教育長 どうですか。ほかにございませんか。どうぞ。

○委員 光村図書にはしょしゃたいそうというのがあって、日本文教出版には入っていないんですけれども。現場はしょしゃたいそうというのは1年生のときに本当にやっているのかな。

○教育長 どうですか。しょしゃたいそう、これは体を使ってやるんですね。

○委員 準備運動みたいですね。

○教科書選定委員会事務局 一緒にやっているとは思いますが、その一応参考としましてそういったもので取り入れて子ども達の意欲を掻き立てる。参考になればいいなど。

○委員 お話に関してなんですけどね、ある出版社、ない出版社ありますよね。おもしろいと私は思いますが、私はあったほうがいい。

○教育長 何かございますか。それではよろしいですか。光村図書と日本文教出版ということで、どちらか選ばないかということがございますので、これも投票で決めたいと思います。

まず、光村図書がいいと思われる方、手を挙げてください。

はい、それでは、私も光村ということで、光村図書にさせていただくということで決定したいと思います。

それでは書写は光村図書ということで採択いたします。

それでは、次に社会の審議といたします。答申にある教育出版と日本文教出版について審議したいと思いますますが、ほかに推薦するものはありますか。

(「なし」の声あり)

それでは、教科書の準備をお願いします。教育出版と日本文教出版の説明をお願いします。

それでは教育出版と日本文教出版について選定委員会からの説明をお願いします。

○教科書選定委員会事務局 それでは、社会について2者の主な意見を説明させていただきます。

まず、教育出版でございます。

恐れ入りますが、6年生80ページ、81ページを御参照ください。「この時間の問い」と「次につなげよう」という項目があり、授業の連続性を意識させるよう構成されております。

また、88ページを御参照ください。

まとめのところにおいて言語活動を意識したまとめ方が紹介されるなど内容に合わせたまとめ方や考えをまとめる方法が明示してあり、深める学習ができるようになっております。

続いて、日本文教出版でございます。

6年生64ページを御参照ください。問いの立て方が子ども達からの自発的なつぶやきからたてられているとともに、選択単元が多様かつ豊富なため、子ども達の興味をひきながら学習を進めることができる工夫がなされております。

続いて、73ページを御参照ください。また、結論を書ききっていないため子ども達の思考の幅が広がりやすく、深く学ぶことができるよう工夫がなされております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された2者の教科書の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に教科書を見ていただくために5分間休憩に入ります。

午前10時21分 休憩

午前10時26分 再開

○教育長 それでは、時間でございますので、休憩を閉じて審議に入りたいと思います。

○委員 教出と日文で、非常に気になっているところは、安全防災という分野ですけれども、そこの資料ですね。量を比べてみますと、これは大阪府の教科書選定資料に載っていたんですけども、教出は安全のほうは70、防災のほうは写真表が49、

それに対しまして、日文は安全が98、防災が78と。比重が大分違う。近畿圏なんか特に、非常に切羽詰まった日常的な問題になってきています。しかも、考えをより深めるという観点からも日文の社会科の5年生273ページ、これは話し役と一度調べた上で出てきた疑問をさらに考えて、さらにまた問いを生む。その問いを生んだのを共通の問いにして、また考えると。自分達の考えたことをさらに吟味して深めていくという、この構成というのは非常に大事じゃないか。深めるというのは一体どういうことなのか。一度持った考えをもう一遍ゆすぶってみて、もう一回新たな考えをする。そういうのにも非常にきめ細かく考えておられるんじゃないかというふうに思います。

○教育長 4年生の社会をちょっと比べてみますと、どちらかというとならば教出は担当がいわゆる東日本が中心になっているのではないかと。兵庫県は入ってますかね。教出の4年生の最後のページを見ると、そうなっております。

日文のほうは、大阪、和歌山が近畿圏では入っているんだと。そういう意味において身近さからいえばそうかなという気はします。

○委員 先程、教育長がおっしゃったのですが、大阪とか近畿とかの関連の資料というのはそういう視点でいけば日文がたくさんというのは私も感じます。ほかのところももちろん扱ってはいるんですけども。そういう意味で身近さというか近さを感じたというところではありました。それぞれ、工夫なさっているし、この二つを選ばれたという調査委員会なり、それぞれ現場の先生方のお考えというのはそれはそれなりによくわかったかなと思います。

○教育長 ほかないですか。

○委員 日本文教出版のほうなんですけど、説明の本文に加えて多く男の子の絵とか女の子の絵を使って口語体で感想のような感じで書かれていますので、じゃあ自分はどうか考えるかという誘導がうまくなされているように思います。その表現が日本文教出版のほうが多いように思いますので、私は日本文教出版のほうがいいのかなと思います。

ます。

○教育長　ほかございませんか。

○委員　両者ともキーワードとか問題点とか、そういうのが書いているので比べるのがすごく難しいんですけど、日本文教出版のほうがグループがすごくわかりやすい、見やすいと思います。子どもが見たときに同じように比較しているんですけども、わかりやすいなというのと、あと、ノートの書き方とかも調べたことの書き方というのが詳しく書いてあるので、わかりやすいかなと思いました。

○教育長　それでしたら、日本文教出版がいいと思われる方、手を挙げてください。はい。それでは、日本文教出版がということで決議をしたいと思います。

それでは、地図の審議に入ります。答申にある東京書籍と帝国書院について準備をお願いいたします。

それでは、選定委員会からの説明をお願いします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、地図について2者の主な意見を説明させていただきます。

まず、東京書籍でございます。

恐れ入りますが、83ページを御参照いただきますようお願いいたします。全体として、資料の文字は大きく、見やすくなっております。

次に、75ページを御覧ください。また、歴史学習に関する資料が豊富にあり、6年生の学習指導に活かしやすい工夫がなされております。

続いて、96ページを御参照ください。インターネットを使った無料のコンテンツをゲーム感覚で利用することができるよう工夫がなされております。

続きまして、帝国書院でございます。

まず、巻末資料の量が豊富であることと、9ページを御参照ください。初めに地図の約束・地図の使い方などについて、詳しく記載がなされております。

続いて、81ページを御参照ください。地図と、世界の主な国と文化について見や

すいイラストで紹介しており、児童の興味、関心を引く工夫がなされております。

続いて、117ページを御参照ください。「地図マスター」との工夫が設定されており、児童が意欲的、自主的に学習する工夫がなされております。

以上、最もふさわしい教科書として選定された2者の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に地図を見ていただくために休憩に入ります。

午前11時37分 休憩

午前11時42分 再開

○教育長 それでは、休憩を閉じ審議に入ります。何か御意見とか御質問ありましたら。

○委員 地図は何年生から使いますか。

○教科書選定委員会事務局 3年生からになります。

○委員 初めて地図を見るときに、どちらがわかりやすいのかなと思い、全く地図というものの概念がない子どもにとっては、この帝国の地図の約束というのは非常にこれは子どもの指導の手助けになるなど。そういう道具になるような気がします。

○教育長 ほかにないですか。地図3年生から、実際4年生が使うのが多いのかなと思いますけれども。より身近さという観点からいえば、守口がどのようにあらわれているのか、この東書のほうは、33ページ、32ページのところです。少し見にくいというふうに思います。これは帝国ですね。帝国のほうは45ページ、46ページはそんなに変わらないんですが、47、48ページになると、守口市の中でこれは庭窪が出てきていますし、鶴見緑地が出てきています。身近さからいえば、帝国かなと思います。地図ですからそんなに変わることはないと思うのですが、見やすさ、身近さからいえばそうかなというふうに思います。

○委員 東書を初めて拝見したときに、とても斬新な感じがし印象深かったんですけども、帝国のほうも大分雰囲気が変わってきて、大分見やすくなったなという感

じはありますね。東書は資料の字が大きくて統計的な資料なんかも見やすくするとかいろいろな工夫がなされてていいなと思いますが、教育長がおっしゃったように庭窪が出てきたり鶴見緑地が出てきたりというような、身近に感じるというのは子ども達の思いだろうと思いますし。地図を使うということに係わって基本からちゃんと手ほどきされているという意味合いはとても大切な視点だなというふうに思います。

○教育長　何かほかにあります。

○委員　私も、統計資料は東京書籍のほうがわかりやすいのですけれども、地図で見た感じで3年生から使うんですよ。やはり、帝国がすごく見やすいです。文字もぱっと入ってくるし、この地図に興味をもっていただけるかなと。

○教育長　ほかございませんか。

それでは、採択をしたいと思いますが、東京書籍か帝国書院かということでどちらか手を挙げてください。

東京書籍がいいと思われる方、挙手願います。

それでは、帝国書院ということで採択したいと思います。

それでは、次に算数の審議をいたします。答申にある東京書籍と教育出版について審議したいと思いますが、ほかに推薦ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

それでは、教科書の準備をお願いいたします。

東京書籍と教育出版について選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、算数について2者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、東京書籍でございます。恐れ入りますが、6年生、14、15ページを御参照いただきますようお願いいたします。

「めあて」「まとめ」が毎時間分書かれており、児童が主体的に取り組むことができるようになっております。また、128ページを御参照をお願いいたします。生活の

中にある算数やこれまで学習してきたことなどについて話し合いながら、「めあて」をつくるなど課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっております。

続いて、2ページを御参照ください。こちらの「学びのとびら」や、63ページの「今日の深い学び」で学習の進め方が説明されております。さらに学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができ、授業でタブレットや電子黒板を使うことを想定したデジタルコンテンツが整備されております。

続いて、教育出版でございます。まず、6年生の9ページを御参照ください。数学的な見方・考え方を、「なるほどマーク」や吹き出しで示すことなどで、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができるようになっており、結果を求めることだけではなく学習の過程を重視し、学びを共有しながら授業展開をするモデルが示され、新たな課題へとつながる工夫がなされております。

続いて、22ページを御参照ください。単元導入時の「どんな学習がはじまるかな？」で身の回りの具体物を多く取り入れた問題場面を設定しております。

続いて189ページを御参照ください。さらに「学んだことをつかおう」や「広がる算数」で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われております。

以上、最もふさわしい教科書として選定された2者の教科書の説明とさせていただきます。

○首藤教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に教科書を見ていただくために5分間休憩を取りたいと思います。

午前11時50分 休憩

午前11時55分 再開

○教育長 それでは、休憩を閉じ審議に入ります。何か御意見、御質問ありましたらどうぞ。

○委員 守口の学校では、ウサギを飼っているのですかね。

○教科書選定委員会事務局　　現在、飼育はゼロです。

○教育長　　今はどこも、飼育をしていないということなんですね。

○委員　　子ども達が修学旅行とか、集団でお泊りするとかそういう行事がありますよね。

○教育長　　修学旅行とか林間学習などはあります。

○委員　　なぜ、聞いたかといいますと、東京書籍と教育出版の単位当たり量の単元のところで、東京書籍は、単位当たりの大きさの単元が学校のウサギ小屋を題材に。そのウサギ小屋の面積とウサギの数の二つの量で取り扱う。それに比べて、教育出版は同じ単元でこれは子ども会の旅行で宿泊がある。お泊りする場面で畳の数とか子どもの数で二つの量を取り扱う。このどちらがより生活に根差しているのか、より身近かと言われれば、どっちかという教育出版のほうが身近じゃないか。もう少し深くいえば、大阪府の教科書選定資料であげておられますけれど、例えば、学習したことを日常生活に活用する場面において取り上げる箇所の数。要するに、基礎基本で学んだ知識を習得させてそれを日常生活に活用していくという、そういう力ですね。そこが東書は47で教出が111。

それから、自分たちが学んだ算数を他教科にまで広げていくと。算数をするよさが実感できるというか。例えば、それを他教科に関連した内容について取り上げている箇所を調べると、東書が67で教出が90、ここが非常に開きがあるんですね。算数という教科を例えば横断的にこの場合は国語とか社会とか点字なんかの福祉とかですね。算数がいろいろなところに生活の中に根づいているんだよという、算数というものがただ形式的な嫌なものじゃなくて、非常に身近なものだよということをアピールできるというか、興味を沸かせることができるのが教出がより望ましいかなと。はてなという素朴な疑問から出発するのは子どものつぶやきというのを大事にしているわけですけども、それは、どういう子でも取りつくことができるのではないかという学習の過程が明確化できるんじゃないかなというふうなことも考えられるなと思いま

す。

○教育長　ありがとうございます。ほかにありませんか。

○委員　最終的にこの2者が望ましいという形で選ばれてきたということについてはなるほどそうだというような、それはよくわかりますし、甲乙つけがたいというのは、みんな同じ思いだと思います。

私は、数学が専門でございますので、そういう視点で小学校ですから余りそういうふうに論理的にどうのこうのというのも全面に出すのはどうかなとも思うのですけれども、やはり、小学校から中学校、高等学校とずっと論理的な思考をある程度鍛えていくといいますか。身につけることができるようにという視点に立った上で一貫してそういう視点に立って全体を構成する。そうした場合にそれぞれの学年であったり、それぞれの日の授業であったりという部分は何を目的にして、何をどういうふうにして、それを積み重ねてどういうことをしようというような、そういう視点に立った一貫性というのを東京書籍の内容については感じます。1回1回に目標があり、それを確かめながら、また、中学校へ進む段階では過去の小学校の分を振り返ってその次の段階として中学へのステップにつなげるというような、そういう意味のつながりという意味で、構成がよく工夫されているなと思いました。もちろん、教育出版のほうもそういう視点はちゃんとあって、しておられるんですけども、数学をやっている人間にしてみたら、よりこちらのほうが一貫性がよく見えるなというふうに感じ、そういう意味で見やすかったという。

あと、もう一つは1年生だけ大きな教科書を使っておられるので、子ども達は、算数というとやっぱり大変難しいものという意識があり、初めての子ども達にとって、どちらが親しみやすいんだろうかなという意味合いでより大きな絵を使って、あるいはその他の道具を使って子ども達にできるだけ抵抗なく数学に算数に取り組んでもらいたいという意図がかいま見えたので、あえて大きくされたんだなというのを思ったものですから、まあ、いろいろ考えたときにそんなことなども思いました。

○教育長 ありがとうございます。ほかに、ございませんでしょうか。

○委員 感覚ですけど、算数嫌いな子が結構多いのでね。そういう意味ではこちらのほうが、漫画が多いような気がしますね。円の面積のところではピザの写真を大きく載せたりとか、そういう意味ではこちらのほうがより多くの子どもに親しんでもらえるのではないかと思います。私は、教育出版のほうが、そういう感じです。

○教育長 ほかございませんか。

来年度からプログラミング教育が入ってきますが、一つはプログラミング的発想、思考そういうのが必要で、これは、あとで理科のところでも、また、議論があるかもしれません。算数についてはどうですか。

○教科書選定委員会事務局 選定資料のデータから見ますと、プログラミングについて取り上げている題材数については東書が5・6年生で3点、教出が5年生で1点となっております。

○教育長 全ての教科でやっていくんでしょうけども。ほかございませんか。

それでは、採決に入りたいと思うんですけども。

算数は東京書籍と教育出版です。東京書籍を採択したいという方は挙手願います。では、教育出版の方。

ということで、教育出版ということで、採択いたしたいと思います。

それでは、1時から再開するということで休憩に入りたいと思います。

午後0時05分 休憩

午後1時00分 再開

○教育長 それでは休憩を閉じ、審議を再開したいと思います。

○教科書選定委員会事務局 先ほど算数の教科書の採択時に、ウサギを飼ってる学校の御質問の御回答で、0羽ということでお答えをさせていただいた件を訂正させていただきたいと思います。先ほど確認をしましたところ、現在2校で3羽のウサギが飼われているという状況で、先ほどの回答に間違いございましたので、訂正させていた

できます。

○教育長　それに影響して教科書の採択を変えるということについてですが、それはないということによろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

では、そういうことによろしくをお願いします。

それでは、理科の審議をいたします。答申による東京書籍、啓林館について審議をしたいと思いますが、ほかに推薦はございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようでございますので教科書の準備をお願いいたします。東京書籍と啓林館について、選定委員会からの説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、理科について2者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、東京書籍でございます。恐れ入りますが、6年生2ページを御参照ください。各学年巻頭の「理科の学び方」で学習の流れをつかめるようにしており、巻末の「学んだことをふり返ろう！」では、その学年で学習した内容の振り返りだけでなく、次の学年へとつながる内容が掲載されております。続いて、76ページを御参照いただきますようお願いいたします。例えば、この76ページを見ていただいておりますのとおり、写真が多く、教科書自体もA4サイズで大きく見やすくなっているのが特徴という意見がございました。

続いて、啓林館でございます。こちら6年生の109ページを御参照いただきますようお願いいたします。単元末で「まとめ」のノート例を示すとともに、続いて110ページ「たしかめよう」で基礎的な学習の振り返りができるよう工夫がされております。さらに、111ページの「つなげよう」で発展的な学習につながる資料を取り入れているのも特徴となっております。また、巻末には、例えば3年生の「たんけんカード」や、5年生の「雲の観察カード」、6年生の「月の満ち欠けモデル」など、

課外学習に活用できる付録が充実しております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された2者の説明とさせていただきます。

○教育長　それでは、説明が終わりました。審議に入ります前に教科書を見ていただくために休憩をとります。

午後1時4分　休憩

午後1時9分　再開

○教育長　それでは休憩を閉じ、審議に入りたいと思います。

新しくプログラミング教育が入ってきますが、理科が中心になってこようかと思うんですけれども、その辺の記述等はどうでしょうか。

○教科書選定委員会事務局　小学校学習指導要領では算数、理科、総合的な学習の時間において、児童がプログラミングを体験しながら論理的思考を身につけるための学習活動を取り上げる内容や、その取り扱いについて明示がなされているところでございます。理科につきましては、6年生の電気について明示がなされております。恐れ入りますが、東京書籍の6年生159ページをお開けください。続きまして啓林館の6年生180ページをお開き願います。いずれも電気製品のプログラミングについて体験ができるように教科書に記載されておりますが、東京書籍につきましては160ページにインターネットの記号がございまして、こちらにアクセスすることで体験できるようになっております。啓林館につきましては、182ページでございます。フクロウの絵が描いてございますが、横にQRコードがございまして、こちらを読み取ることでシミュレーションを確かめるということができるようになっております。以上でございます。

○教育長　大阪電気通信大学と連携をして、この間もプログラミング教育にかかる授業を見せてもらいましたけれども、委員の皆さんもこの前見ていただいたと思います。何かありませんか。

○委員 啓林館のほうで問題、それから予想、それから実験観察結果、結果から考えようという、そしてまとめという、要するに子ども達が見通しを持って学習に取り組むことができるんじゃないかなと思います。しかも、その問題とまとめというのが色分けしてあり意識化できる。それと、問題の前に、問題をつかもうという、学年が下がりますと問題をつかもうというのがある、子どものつぶやきから出たようなそういう問題意識が生まれて、問題そのものが子どもの意識とかけ離れたものじゃないというか、そういう工夫も見られるような気がいたします。実験を見てますと、例えば啓林館の5年生の137ページなども、別の方法というのも与えられて、実験方法が多様化するという、そういう手助けも教科書の中に見られる。それから、先ほど説明があったんですけど、単元のまとめのところで振り返るときに、今まで勉強してきた基礎・基本的な考え方がここではっきり習得できるかどうかでここが確かめられる。しかも、確かめようの問題だけじゃなくて、活用しようというのもありまして、それは知識・技能をもとにして、それを活用して考えていくと、そういう学んだことを活用するという全国学力学習調査のときに活用という部分がありますけども、それにも対応されているのが、この教科書からは伺い知ることができます。まとめのノートの例示がしてありますので、子ども達が自主学習というのをやる場合に非常にノートのまとめ方の参考になる。子どもにも優しいという感じがいたします。それと、発展的なものに力を入れてるなというふうに思うんですけども、大阪府の図書選定資料の中に発展的な学習で扱った箇所が、東京書籍の場合は16カ所で、啓林館は41カ所。さらに、つなげようというふうな部分がありますので、子ども達の学んだことをもとにさらに発展させていくという、より深い学習が期待できる。そういうふうな構成になっているのもいいんじゃないかなというふうに思います。

○教育長 ほかにございませんか。ないようでしたら採決をしたいと思いますが。理科につきましては、東京書籍と啓林館ということで、どちらか手を挙げていただきたいと思います。

東京書籍がいいと思われる方、挙手願います。

啓林館ということでよろしいですね。ありがとうございます。それでは、啓林館を採択いたします。

次に、生活科の審議をいたします。答申にある東京書籍と、それから教育出版と啓林館について審議したいと思います。ほかに推薦はございませんか。

(「なし」の声あり)

それでは教科書の準備をお願いいたします。東京書籍、教育出版、啓林館について選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、生活について3者の主な意見を説明いたします。

まずは、東京書籍でございます。こちら58ページを御参照いただきますようお願いいたします。上巻58ページをお願いいたします。子どもの発達に応じて学習課題が設定されていて、低学年の子どもが学びに向き合えるよう、日常生活の中から身近な課題を取り扱っております。また、子どものつぶやきの引き出しが多くあり、気づいてほしいポイントがわかりやすくなっております。

続きまして、教育出版でございます。恐れ入りますが、上巻56ページを御参照いただきますようお願いいたします。単元の終わりに「何を感じたかな」として振り返りを大切にしております。続いて57ページを御覧いただきますようお願いいたします。こちらの右にございます「まんぞくはしご」が掲載されており、子どもの学びや深まりなど、振り返りを自分で数値化できるよう工夫がなされております。

続きまして、啓林館でございます。こちら上巻の36ページの「わくわく」、38ページ「いきいき」、そして42ページ「ぐんぐん」、この観点で単元の流れが構成されております。「わくわく」では課題の設定、「いきいき」では調査・観察・体験、「ぐんぐん」ではまとめ・発表のサイクルが繰り返されるよう配列されております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書3者の説明とさせていただきます。

ます。

○教育長 説明は終わりました。教科書を見ていただくため5分間休憩します。

午後1時22分 休憩

午後1時27分 再開

○教育長 それでは休憩を閉じ、審議に入りたいと思います。

何かございませんでしょうか。

○委員 教育出版なんですが、目次というのはどこに書いてあるんですか。東京書籍と啓林館はすぐわかるんですけど。

○教科書選定委員会事務局 上巻になりますと6ページのほうに。

○委員 6ページ。それと、もう一ついいですか。

○委員 先ほどの理科では啓林館を選ばせてもらいましたけども、連続性が、出版社が違って支障がないのかどうか、その辺の観点をちょっと聞かせてください。特段問題なければ別にそれで結構です。

○教科書選定委員会事務局 こちらにつきましては、各発行者全てに渡るのですが、生活で学習した内容とそれに関連させながら内容のほう構成されて、続いての理科、社会の構成がされておりますので、どの発行者についてもそのあたりの関連性は図られているものと考えております。

○教育長 ほかにありませんか。生活科というのはどうしても幼児と、いわゆる守口でいえば認定こども園等との継続した連続性というのが非常に必要になってこようかと思えますけれど、そこら辺の表記はどうなのでしょう。

○教科書選定委員会事務局 どちらの発行者につきましても、初めのほうのページにスタートカリキュラムということで、例えば、東京書籍であれば1ページから12ページ、こちらのスタートカリキュラムという保護者の皆様へということで右上のほうに載っているのですが、そういったページが各社ともございます。

○教育長 接続の教育というのはいずれを選んでも問題ないということですね。

それでは、情報機器を活用した、いわゆる書画カメラとか、電子黒板、タブレットですね。この辺の技術は何か変わったことありますか。

○教科書選定委員会事務局　　3者とも取り上げられていますが、東京書籍の下巻の128ページに、こちらのほうは電子黒板、タブレット等の使い方が詳しく記載されているところです。また、教育出版のこちらも下巻の123ページから125ページ、こちらのほうにデジタルカメラ、電子黒板の使い方等が記載されています。最後に啓林館でございますが、下巻の113ページにデジタルカメラ、タブレット端末の説明が書かれているところでございます。

○教育長　　ほかにございませんでしょうか。本当になかなか選ぶの難しいと思うんですけども。

○委員　　安全について取り上げてるページの扱いが、東京書籍が46で、教育出版が17、啓林館も10なんですね。相当、安全ということに対して小さいときから指導する必要があるんだと。今の世相を捉まえてるんじゃないかなというふうには感じました。

○教育長　　そういう視点もありますね。それぞれ、どれもとってもいいと思うんですけど、最もふさわしいということで、守口市では、これがいいんじゃないかという3者でございますので挙手により決めたいというふうに思います。

○委員　　まあ、生活科ですからね。実際の生活と関連するという意味合いで、子ども達の実感できるようになっていうような取り組みでされてるのがいいなど、そういう意味合いでいうとそんなに差がないようにも思うんだけど、今安全のことについて数字を挙げて御説明がありましたので、健康であるとか、身近な問題として子ども達にとって考えやすいとか触れやすいとか、そういう内容をそれぞれの発達段階に応じて子ども達に提供できるという、そういう課題を設定して、それを折り返してというふうに工夫されているとか、準備ができているというのがいいんじゃないかなという視点で私は見たんですけど、そういう意味では、先ほどもお話が出てきま

したけども、東京書籍が扱い方としてはいいのではないか。ほかのがそうしてないとは言いませんけれども、そういう意味合いのところがあったので、あえて一つ選ばないかんということですので。

○教育長 採決をしてばらばらになった場合はもう1回過半数、上位二つでするかどうか検討したい。何か事務局ありますか。

○事務局 教育長は、討論が終局したと認めるときは、会議に諮って採決しなければならないと定められております。採決に当たって必要があれば、会議に諮って記名又は無記名の投票を行うことができると定められております。

○教育長 それでは採決をして、まとまらない場合には上位2者で採決をするということでもよろしくお願いをしたいと思います。

(「異議なし」の声あり)

それでは、まず東京書籍、教育出版、啓林館とありますので順番にいきます。東京書籍がいいと思われる方は。

(賛成者挙手)

それでは決まりましたので、東京書籍ということでもよろしくお願いをしたいと思います。生活科は東京書籍ということでも採択いたしました。

次に、音楽にいきます。それでは、答申にある教育出版と教育芸術社について審議したいと思います。それでは教科書の準備をお願いいたします。それでは、教育出版と教育芸術社について選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局 それでは音楽の教科書2者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、教育出版でございます。恐れ入りますが、6年生8ページを御参照願います。このようにカラー写真が豊富で、見開きで大きく見やすく、観音開きになるページがございます。続いて76ページを御参照願います。こちら、各学年に設定されており、学年が上がるごとに語彙が増え、語彙力を上げることに役立つと思われま

さらに、ワークシート式で書き込みやすくなっている工夫も見られます。

続いて、教育芸術社でございます。6年生の12ページを御参照願います。題材・ねらいがはっきり大きく示されており、何を学習すべきかがわかりやすくなっております。続いて4ページを御参照願います。また、系統的に学習できるようになっており、学習の積み重ねが期待できます。さらに46ページを御参照願います。グループ演奏などを通して話し合い活動をしたり、自分の考えを述べたりする機会が設けられるようになっております。

以上、簡単ではございますが、音楽に係る2者の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に、教科書を見ていただくために5分間休憩をとりたいと思います。

午後1時40分 休憩

午後1時45分 再開

○教育長 それでは休憩を閉じ、審議に入りたいと思います。

何か御意見等ございましたらお願いします。

○委員 両方ともそれぞれのよさがあるんですが、私は教育芸術社の冒頭の部分がポイントが何かと書いてあるところ、そして目次の表現の仕方が非常に学びのポイントがつかみやすいように思います。家に帰って保護者の方も、もし、これに関心があれば子どもにいろいろと伝えやすいんじゃないかなと思いました。だから、私は教育芸術社の方がいいんじゃないかと。

○教育長 ありがとうございます。ほかにもございませんか。守口ではお琴を各学校で指導していただいているわけですが、そういう和楽器的なのはどうですか、この2者で、そんなに差はないですか。

○教科書選定委員会事務局 今、お琴については確認をさせていただいております。補足となりますが、我が国の唱歌や民謡、郷土に伝わる歌を取り上げている曲数を見ますと、教育出版が18、教育芸術社が23となっております。

教育出版のほうは、4年生の11ページのほうにありまして、その11ページの後に、下のほうに60ページとありますが、60ページのほうにも記載がございます。

教育芸術社の4年生の教科書には、56ページと57ページに琴の写真等の記載がございます。

○教育長 ありがとうございます。ほかございませんか。

○委員 教育芸術社はQRコードがついていて、曲についてだったり、太鼓のたたき方など、いろいろ書いてあるんですけども、多分、映像でたたき方が映ってるのかなと思うんです。曲についてというところは音楽とかが流れるんですか。それとも曲自体の説明になっているのか。

○教科書選定委員会事務局 音源をとることができるということです。

○教育長 なかなか議論が難しいんですけども。

○委員 一つ教えてください。教育出版のほうにある九九の歌というのが取り上げられているのですが、この歌は、小学校の現場で一般的によく使われているんですか。

○教科書選定委員会事務局 現在の把握になりますが、このような九九の歌というものが多くの学校で使われているという実態はこちらではちょっと確認はできておりませんので、そういう算数の計算を覚えていく、それと関連させるための工夫として取り上げられてるものじゃないかというふうに考えております。

○委員 じゃあ、全国的に使われてるとかそういうことではないということですね。

○教科書選定委員会事務局 はい。

○委員 そうですか。

○委員 ちょっと違うなと思ったところが、全部の教科書に君が代が載ってるんですけども、教育芸術社のほうは君が代の中に歌ってる方の写真とかがあったりして、マナーだったり、こういう形でっていうのが載ってるのが、低学年の子どもとかも、すごくわかりやすいなって思いました。

○教育長 低学年向きのですかね。

○委員 君が代は、全部に載っているんですけども、教育芸術社のほうが1番後ろのページに全部君が代って統一されている。低学年の子どもとかの2年生とかでもこんなふうに歌ってるっていうふうにロンドンオリンピックの写真とかが載ってたりして。

○教育長 君が代は1番最後に。

○委員 統一されてますね。教育芸術社は全部君が代が1番最後のページって統一されてます。

○委員 6年生だったら72ページ。1年生のは70ページですね。

○委員 これあれですね。教育芸術社のほうは1年間でこういうお勉強しますよというイメージがまず描けて、それぞれの單元にはっきり「めあて」がある。今日、何をやるのか。それが達成できたのかどうかということが明確にわかるという構成の仕方になってる。ほかの教科もそうですけど、見通しを持って学んでいくという、学習過程が子どもの中にイメージ化できるんじゃないか。

○教育長 それでは、採決をしたいというふうに思います。教育出版がいいという方は挙手願います。

教育芸術社がいいという方。

はい、ありがとうございます。それでは、音楽につきましては教育芸術社を採択いたします。

それでは次に、図画工作の審議をいたします。答申にある開隆堂出版と日本文教出版について審議したいと思います。教科書の準備をお願いいたします。それでは、開隆堂出版と日本文教出版について選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局 それでは、図画工作について2者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、開隆堂でございます。こちらは5・6年生の上巻20ページを御参照願います。こちらにございますように、單元ごとに「めあて」が設定されており、教材に

沿ったテーマ設定も児童に強いインパクトを与える工夫がされております。続いて、48ページを御参照願います。鑑賞の授業や、造形活動においてもヒントとなるような著名作品や作品例が適切に掲載されており、とりわけ「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」における掲載作品は、著名作品だけではなく、身近な作品や建造物、道具等々幅広く取り扱われております。

続いて、日本文教出版でございます。こちらも5・6年生の上巻16ページを御参照ください。こちらにございますように、「めあて」が「黒板」のデザインになっており、配色的にも見やすく、全巻とも見開き2ページ構成で左右均一にレイアウトされた紙面は、児童が視覚的に見やすい構成となっております。また、16ページの下段、「相互鑑賞」の題材が多く、感じた思いを言葉等であらわす活動ができるよう構成されております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された2者の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。それでは御意見をいただきたいと思っております。それでは、審議に入ります前に教科書を見ていただくために5分間休憩に入ります。

午後1時58分 休憩

午後2時 3分 再開

○教育長 それでは休憩を閉じ、審議に入ります。

何か御意見、御質問を出していただきたいと思っております。

○委員 十分な時間をかけて御覧いただいた現場の専門の先生の報告書を見させてもらい、日本文教出版の教科書のほうが、先ほど報告ありましたけど、見開き2ページ構成で非常に読みやすく、あるいは文字の配色など児童が理解しやすい、教師が指導しやすい、活用しやすいという報告を受けておりますので、現場の先生が1番使いやすいと感じられたことを私は優先したいと考えます。

○教育長 ほかにございませんか。主体的で対話的で深い学びと言われてますけど

も、グループ学習等をやっていくとすると、個人で作っていくという部分も図画工作の中にはあるかと思いますが、やはりグループとして作っていく、こういう活動も必要だろうというふうに思うわけですが、この辺の差っていうのはあるんでしょうか。

○教科書選定委員会事務局 府の選定資料からの数字になりますが、開隆堂は相互鑑賞につきましては47点あります。また、日本文教出版は相互鑑賞につきましては101項目あります。

○教育長 相互鑑賞ですか。

○教科書選定委員会事務局 お互い見合う。

○教育長 お互いに鑑賞していく。お互いに何か作りますというのはわかりませんか。

○教科書選定委員会事務局 日本文教出版のほうですが、3・4年生の上、52ページです。こちらのひもひもワールドというところなんです、こちら共同でつくるような作品を展示しております。一方、開隆堂でございますが、こちら3・4年生の上の26ページ、こちら見ていただきますとあみあみ大作戦ということで、こちらグループで協力して制作するような活動が紹介されております。

○教育長 わかりました。ほかございますか。なかなか難しいんですけども、採決をしたいと思います。図画工作につきましては、開隆堂出版と日本文教出版です。どちらかに手を挙げていただきたいと思います。開隆堂出版がよいと思われる方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

日本文教出版がいい方。はい、それでは日本文教出版を採択したいと思います。

次に、家庭科に移ります。家庭科の審議をいたします。答申にある東京書籍と開隆堂出版について審議したいと思います。教科書の準備をお願いいたします。それでは、東京書籍と開隆堂出版について選定委員会からの説明をお願いします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、家庭科について２者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、東京書籍でございます。こちら、まず１４ページを御参照願います。まず、課題発見の「見つめよう」、そして続いて１６ページ、課題解決となる「計画しよう・実践しよう」、続いて２２ページ、評価・改善の「生活に生かそう、新しい課題を見つけよう」から構成され、三つのステップで児童が主体的に学び、学習内容が身につくよう設定されております。また、２２ページ下段には、それぞれのステップの振り返りが設定されていて、できるようになったことをチェックしながら自分の成長を実感できるよう工夫されております。

続いて、開隆堂でございます。こちらは２０ページを御参照願います。「見つける・気づく」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の三つの学習の順序で構成され、続いて２９ページでございますように、考えたことを言葉や図表などを用いて学ぶ活動の場面を設定し、話し合いや発表の学習ができるよう、言語力を育成するための工夫がなされております。２８ページでございますように、学習のめあてが単元最初の下段にあり、チェックできるようになっており、言語活動が組み込まれたワークシートや、続いて３３ページでございます「振り返り」、「生活に生かそう」、「できたかな」の流れから、最終５０ページ「やってみよう」では家庭でも実践できるよう工夫がなされております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された２者の説明とさせていただきます。

○教育長　説明が終わりました。審議に入ります前に教科書を見ていただく時間のために５分間とりたいと思います。

午後２時１０分　休憩

午後２時１５分　再開

○教育長　それでは休憩を閉じ、審議に入りたいと思います。

○委員 報告書の中に開隆堂のほうの教科書、プログラミングのこと書いてますが、100ページを見れば手で洗濯をすることが書いてありましたね。それが、その生活の流れがどうプログラミングされて生活の中で役立ってるかということで128ページを見なさいと書いており、うまく結びつけていると思いますが、東京書籍の方はそういったところはございましたか。見てみたらなかったように思うんですけど。

○教科書選定委員会事務局 東京書籍のほうには記載が見当たらなかったです。

○教育長 これQRコードもかなり、開隆堂ですかね、ありますね。

○教科書選定委員会事務局 補足となりますが、今ございましたQRコードについては、開隆堂ではQRコードが29カ所、また東京書籍ではDマークというものが14カ所で、そのようなコンテンツが使える工夫がなされております。

○委員 中学とのつなぎというものを少し説明してください。

○教育長 中学校は来年採択するんでしょうけど、今は何を使ってるかわかりますでしょうか。

○教科書選定委員会事務局 今の関連になりますが、開隆堂のほうでまず126ページを御参照ください。開隆堂のほうでは、2年間の学習を振り返って中学の学習に生かそうということでこのようなページが設けられております。続いて、東京書籍につきましては129ページを御参照ください。こちらでも、2年間のまとめとして、これからの生活に向けてよりよい生活を送るためにどのような工夫をしていきたいですかということで今後の、こちら生活になりますがつなぎが記載されております。

○教科書選定委員会事務局 現在、本市中学校の家庭科で使っております教科書ですが、教育図書のものを使っております。

○委員 両方とも余り差ってないんですけど、学習の流れだったり、めあてだったりもお互いに書いてますし、写真もすごくわかりやすく載ってるので、余り格差がないかなと思ったんですけど、一つ思ったのが開隆堂のほうは全ての項目に対してなぜってという問題意識を、1番最初になぜ食事をするんだろう、なぜミシンを使うんだろ

うというのが書いてあるので、実際にこれがどうして必要なのかというのを1番最初に考えるのはいいかなとすごく思いました。

○教育長　ほかございませんか。それでは採決に移りたいと思います。家庭科は2者、東京書籍と開隆堂出版です。東京書籍がよいと思われる方。

それでは開隆堂ということよろしいですか。では、開隆堂ということ採択をいたします。

それでは次に、保健の審議をいたします。答申にある東京書籍と学研教育みらいについて審議したいと思いますが、保健はほかにもありますので他に推薦はありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、ないようでございますので東京書籍と学研教育みらいについて審議したいと思います。教科書の準備をお願いします。それでは、東京書籍と学研教育みらいについて、選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、保健について2者の説明をさせていただきます。

まずは、東京書籍でございます。恐れ入りますが、5・6年生9ページを御参照願います。こちらにございますように、書き込みが適度な量で、考えたり話し合ったり、今後の自分の行動を選択する項目などで考えを現すなど、全ての児童が学びやすいよう工夫がなされております。続いて36ページ、37ページを御参照願います。こちらにございますように、考えるためのヒントや工夫など情報が多く、写真で具体的に提示するなど工夫がなされております。

続きまして、学研教育みらいでございます。こちら、5・6年生の6ページ、7ページを御参照願います。学習の流れとして、「つかむ」、「考える・調べる」、「まとめる」で構成されているので、学習の流れがつかみやすく、全体を通して、今の自分が考えていることや気づいたことを記すよう構成されております。戻って3ページ

を御参照願います。巻頭に1時間の学習の進め方が書いてあり、学習の見通しを持ちやすい工夫もなされております。

以上、簡単でございますが、最もふさわしい教科書として選定された2者の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に、教科書を見ていただくための時間、5分間休憩に入ります。

午後2時24分 休憩

午後2時29分 再開

○教育長 それでは休憩を閉じて、審議に入りたいと思います。

何か御意見、御質問をいただきたいと思います。ございませんか。

それでは、身の回りの危険ということで、今いろんなことが話題になっております。そういうことがこの教科書を通じて教えられたらと思うんですけども、例えば薬物乱用も含めて、今インターネットの関係も含めて、そういうものがどのように違うのかというところわかったら教えてください。

○教科書選定委員会事務局 私のほうから身の回りの生活の危険に関する内容を取り上げてるページ数をお伝えさせていただきますが、東京書籍では32ページ、こちら全体の25%を占めております。続いて学研教育みらいは19ページ、こちら全体の20%となります。

東京書籍のほうですが、44ページ。3・4年生の44ページになります。こちらでは、外で遊ぶときに注意することとしてイラストつきで注意することが掲載されております。一方、学研のほうの3・4年生35、36ページに、こちらのほうにも安全な生活のためにとということで、外出するときの安全について記載がございます。

引き続き情報機器の活用につきまして御説明申し上げます。恐れ入りますが、東京書籍の3・4年生の43ページをお開き願います。こちらのほう、スマートフォンやタブレット等、生活の項目に関する記載が3・4年生から掲載されているというところ

ろが特徴的だと考えます。恐れ入りますが、学研教育みらい5・6年生の20ページをお開きください。こちらのほうもICTを使った学習法が具体的に掲載されているところがございます。

併せまして、デジタル教材につきまして御説明申し上げます。東京書籍につきましては、Dマークというマークをつけられておりまして、まとめてQRコードを読み取るようになっております。学研教育みらいも同様に教科書サイトマークという記号をつけまして、まとめてQRコードを読み取るようになっております。

○教育長　ほかございませんか。なかなか難しいんですけども。

○委員　熱中症とかAEDの使用法というのは東京書籍だけなんですか。教材として。

○教科書選定委員会事務局　東京書籍は5・6年生の46ページに掲載されておりますが、学研教育みらいのほうは5・6年生の30ページと31ページにAED、熱中症のほうに掲載されております。以上でございます。

○教育長　どれもきちっと載ってるということですね。なかなか差をつけるというの難しいんですけども、採決してよろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは東京書籍、学研教育みらいと順番に採決をとりたいと思います。東京書籍がよろしいと思われる方の挙手願います。

それでは、保健は東京書籍というふうに採択したいと思います。

それでは、ここで10分ほど休憩をとりたいと思います。再開は14時45分というところでお願いします。

午後2時35分　休憩

午後2時45分　再開

○教育長　休憩を閉じ「英語」の審議に入ります。

答申にある「東京書籍」と「三省堂」と「教育出版」について協議したいと思います

が、他にありますか。

(「なし」の声あり)

それでは東京書籍と三省堂と教育出版について選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、英語について3者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、東京書籍でございます。恐れ入りますが、6年生の44ページを御参照願います。「聞く」活動を初めに多く取り上げ、その後に46ページでございますように「話す(やり取り・発表)」、「読む・書く」という活動を取り上げております。また、外国語活動でなれ親しんだ語彙や表現を繰り返し登場させ、振り返ることができるよう工夫されており、別冊*P i c t u r e D i c t i o n a r y*がつけられ、振り返り等の活用がしやすい工夫がなされております。

続いて、三省堂でございます。三省堂については6年生の106ページを御参照願います。世界の暮らしや風習などを紹介する中で、英語や日本語の違いなどから、言語や文化を理解する内容が取り上げられており、38ページのようにインプットの後に自分のことを表現するアウトプットを段階的に増やし、基礎的な技能が見につく内容となっております。また、実社会の英語や実際の会話を紹介するなど、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が豊富に取り上げられております。

最後に、教育出版でございます。恐れ入りますが、6年生の46ページを御参照願います。各単元で学習する言語材料について、聞く活動を通して理解した上で、続いて48ページでございます基本的なやりとりの活動が扱われ、基礎的な技能が身につく内容となっております。目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取り上げられ、学習した表現を使って活動する「*a c t i v i t y*」が設定されております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された3者の説明

とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に、教科書を見ていただくために5分間休憩をとります。

午後2時50分 休憩

午後2時55分 再開

○教育長 それでは休憩を閉じ、審議に入りたいと思います。

どなたでも結構ですからよろしくお願いします。

○委員 C a n d oリストの有無について、3者の比較を教えてくださいませんか。

○教科書選定委員会事務局 C a n d oリストにつきましては、選定資料の中で確認をさせていただきますと、まず東京書籍については別冊で示されております。続いて、三省堂については5年生、6年生ともに記載されております。なお、教育出版につきましてはC a n d oリストの記載はございません。以上でございます。

○教育長 ほかございませんか。

○委員 念のために確認したいんですが、3者ともリスニングの場合に音声の教材が聞けるような状況にはなっているのでしょうか。

○教科書選定委員会事務局 3者ともQRコード等を使いまして、そういった音声等を聞けるようになっております。

○委員 その使いやすさとか、あるいは分量ですけれども、ボリューム的にいかがですか。初めての取組みですから、そのあたりが使いにくいようでは具合が悪いので。いろいろと何かQRコードとかマークついてますよね。さっと使えるのかどうかということですね。

○教科書選定委員会事務局 QRコードでございますが、東京書籍、三省堂につきましては各ページにQRコードがついておりますので、それを読み取ってという形になりますが、教育出版の場合は学びリンクということで、別途QRコードで読み取るという形になります。以上でございます。

○委員 何かCDのマークが付いているんですけども、これは関係ないんですかね。コンパクトディスクの記号が。QRコードは見えない。教育出版社の6年生の59ページにもその、尋ね合おうアクティビティ2のところ、尋ね合おうの横っちょに何やらディスクのマークが付いているんですが。正しい発音が聞けないとよくないと思うので。

○教育長 59ページ。

○委員 関係ないですかね。例えば、イヤホンのマークがついてたり。例えば、これは聞いてから、関係あるものは線で結ぼうと。楽しく授業受けようっていう工夫だと思いますが。

○教育長 どうですか。

○委員 先ほど3者とも音声の教材があるということは確認できましたんで、それで結構です。

○委員 説明の問題が。

○教育長 説明の問題がありますからね。それから、QRコードで読み取れば全学校の全クラスでそれはいけるということですね。例えば、三省堂で聞いてとかいうのがあるじゃないですか。

○委員 三省堂たくさんありますね。

○教育長 それが非常にあるけれども、小学校の教員が言ったのを聞くのではなくて、このQRコードからネイティブの声が聞こえて、それを順番に例えば番号で書くとかいうことというふうに捉えたらいいですね。

○委員 リズムに合わせて言おうってありましたね。いろんな絵が書いてあり、リンゴ、クマですよ。音楽のマークついてますので、例えば先生が自分で発音してっていうのと全然違うんですけど。聞いて、それをまねして言う。まねして言えばいいわけですから。

○教育長 現場ができるだけ使いやすいというのを、選ばないと本当に教員の負担

になってしまうということは避けなくてはならないと思いますので、QRコード、これ今聞けますか。

○教科書選定委員会事務局 休憩を挟んでいただいて、その間に確認させてもらってよろしいですか。

○教育長 では、そうしましょう。休憩をしばらくとりたいと思いますので。

午後3時 2分 休憩

午後3時 7分 再開

○教育長 それでは、休憩を閉じて審議に入りたいと思います。よろしいですか。

○教科書選定委員会事務局 確認しましたところ、3者とも音声は使えるということでございます。

○教科書選定委員会事務局 補足でございますが、CDマーク等については、この教育出版については一つはホームページ、こちらにQRコードですぐ飛ぶことができまして、その後、そのアクティビティごとに使える音声、それをあらわしてるのがCDマーク、また、カード類等についてはカードマークなんかも同様の表記で使われている状況でございます。

○教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。初めての教科書ということでそれぞれなかなか難しい部分があると思うんですけども、何かございますか。

○委員 3者とも英語が好きになるように、楽しめるようにいろいろ工夫がされてるなと思いますが、報告書の中に三省堂の英語のテキストが実際の会話を紹介したり、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取り上げられていると書いてますので、もし本当に三省堂の教科書が非常に重視されているようであるならば、私それを1番優先したいなと思います。

○教育長 ありがとうございます。ほかにございせんか。これは東京書籍ですかね。東京書籍だけが別冊があるんですけども、これをどう評価していくかということですよ。

○委員　これは、辞書がわりみたいなもんですよね。あらゆる場面でこれで参考になるようなものを各人が持っておけば使い勝手がいいという意味でこういう格好になさってね。たんびたんびに i P a d なり、スマートフォンなり、電子機器を使って引っ張り出してきて見る、あるいは調べるという形ももちろんありでしょうけれども、東京書籍にないような辞書を買って、みんなが持つという形ではないわけですから、小学校の場合は。そういう意味で、使い勝手がよさそうなものをここにまとめておくというのがなかなかのものだなというふうには思いました。

○教育長　ありがとうございます。ほかにありませんか。

○委員　初めて来年度から英語が入りますけど、中学校の1年生との連続性というか、少し気になるんですけれどもね。例えば、出版社が変われば具合が悪くなるとか、そのあたりはどうなのでしょう。

○教育長　学習指導要領に基づいてやっているけども、編集方針が若干違うんだらうと思うんですけれども、中学校との、いわゆる9カ年を見据えたという観点からいえば、それは何か問題点はありますか。

○教科書選定委員会事務局　教科書会社が同様であれば構成、表現等でわかりやすいというメリットもあるかと思うのですが、今現在、さまざまな教科の中で発行者の違う教科書を取り扱ってる教科ございますが、今のところ発行者が変わったことによって何かマイナス面が出ているというような報告は受けた状況はございません。

○教育長　今すぐできるかどうかは別として、いわゆる小中一貫ということをしてるわけですから、なかなか難しい部分はあるかと思えますけども、そろえられるものはそろえたらいいと思うが、なかなか難しい問題があると思えますけれども、その辺をこれから、今すぐにできるとは思いませんけれども、考えていく必要があります、特に、義務教育学校などはそれが顕著に表れてくるというふうに思いますので、少しの研究材料にはなるかなというふうに思います。今すぐにこれに反映するというわけではないと思えますけども。ほかございませんか。それではなかなか難しい部分がある

と思いますが、英語については東京書籍、三省堂、教育出版と、この3者が出ております。先ほど3者であったときのように1回で決まらない場合は二度目をやりたいと思いますのでよろしくお願いします。それでは、東京書籍がいいなと思われる方は手を挙げてください。

(賛成者挙手)

三省堂がいい方。

(賛成者挙手)

三省堂も2ですか。教育出版はいませんので、私は東京書籍ということで、申しわけないですが東京書籍に決めさせていただきたいというふうに思いますのでよろしくお願いします。

それでは、英語の教科については東京書籍を採択いたしました。

それでは最後に道徳の審議をいたしたいと思います。答申にある東京書籍、光村図書、光文書院について審議したいと思いますが、ほかに推薦ございますか。

(「異議なし」の声あり)

教科書の準備をお願いいたします。東京書籍、光村図書、そして光文書院について選定委員会から説明をお願いいたします。

○教科書選定委員会事務局　それでは、道徳について3者の主な意見を説明させていただきます。

まずは、東京書籍でございます。恐れ入りますが、6年生55ページを御参照ください。55ページから61ページまでについて、いじめについて考えたり、友達とのかかわりについて考えたりする「いじめのないせかい」が全学年、2時間続きで設定されております。続いて174ページ。こちらにございます「つながる、ひろがる」というページでは、教材の内容と関連したページを設けており、内容についてさらに深めることができるよう工夫されております。

続いて、光村図書でございます。6年生の48ページを御参照願います。下段にご

ざいますように、各教材の終わりに「かんがえよう」「話し合おう」で、道徳の時間に考えることを示すとともに、「つなげよう」では、他の学習や生活の中で考えてほしいことを示す問いが設定されており、考えを深めることができるよう工夫がなされております。また、177ページ、続いて182ページのように、重点的に取り上げたい項目については2時間続きで設定されております。

最後に、光文書院でございます。こちらも6年生の51ページを御参照願います。なぜといった行動に対する発問や考えさせる終末の扱いが多く、どの学年でも問題解決的な学習ができるよう工夫がなされております。また、ページの下にありますキャラクターの問いかけが教材を読む際、児童の目に自然に入りますので、各児童が考えながら読むことができるといった工夫がなされております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された3者の説明とさせていただきます。

○教育長 説明が終わりました。審議に入ります前に、教科書を見ていただくために5分間休憩をとりたいと思います。

午後3時19分 休憩

午後3時24分 再開

○教育長 では休憩を閉じ、審議に入りたいと思いますが、何かございますか。

私のほうから、この教科書は2年ほど前でしたか、道徳はもう決めたということで、それ以降各3者の道徳教育の中身について教材について大きく変更した部分ってあるんでしょうか。

○教科書選定委員会事務局 大きな変更点はないと思われまして。

○教育長 そうしますと、今使ってる教科書、2年前に採択して、何か学校のほうから不都合な場面とか場合とか問題点というのは何か指摘出されてますか。

○教科書選定委員会事務局 今現在、道徳の教科化に伴いまして、改めて道徳の時間の指導方法や評価等について研究を進めているところでございますが、この採択さ

れた現行の教科書を活用する上で、その活用について特に何か困った点等、そういう意見が届いてるという状況はございません。

○教育長　　そうしますと個々で教科書、今は、各学校で教材研究なりされてると思うんですが、ここで教科書を変えることによって大きな混乱というのはないものでしょうか。

○教科書選定委員会事務局　　今、道徳の時間においては特に子ども達の思考を促し、心に響くような発問をどのように持っていくかというような研究を進めておる中、教材が変わることによってそういう研究に問題が生じるということはないと思われま

す。○教育長　　ここの取り扱いは、皆さん方の意見をお聞きしたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。ございませんか。

○委員　　教育長がお尋ねになりましたように、2年前に採択をするときに我々も一緒に議論をいたしまして決めたわけですし、その結果の今の状況として特に大きな変化がないということであれば、特段改めてもう一度し直すということは不必要じゃないかなというふうに私は思うんですが、いかがでしょうか。

○教育長　　ほかの委員さんどうですか。

○委員　　私も2年前にいろいろ検討して、守口市の子どもにとってはこの教科書がいいということで踏み切ったわけで、今、それを実践されてるということで、今現場から使い勝手が悪いとか、やっぱり内容がもう一つだという声があれば、もう少しそれで進めていく方向でいいんじゃないかと思ひます。

○委員　　異論はございません。

○教育長　　よろしいですか。そうしますと、もう2年前に議論もして、守口の子ども達にとって1番いいだろうということで取り組んできて、それで今のところ大きな変更点もなく、大きな混乱もない。おかしなところもないというのであれば、現行の東京書籍のまま、もう1回続けていってはどうか。

○委員　　大前提として、この3冊、ほかの社も比べて御覧になって、その上で優れ

たものとして推薦を受けているわけですから、それでいいと思います。

○委員 異議ありません。

○教育長 そういうことで、道徳の教科書につきましては東京書籍ということで採択をしたいと思います。

これで、議案第18号については全て決まりました。あと、議案の17号は残して終了しますので、この議案第17号令和元年実施公立小中学校義務教育学校校長教頭指導主事等選考の一次選考推薦についての審議は、関係者のみの秘密会で始めたいと思いますが御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 それでは関係者以外の方は退席してください。

暫時休憩いたします。

(秘密会)

○教育長 これで、本日の定例会を閉会します。